

群馬の畜産 みんなの情報室

第355号

発行日
令和5年1月31日発行:公益社団法人 群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 3階/TEL:027-220-2371 FAX:027-220-2372
ホームページ:https://chikusankyokai.or.jp

年頭のご挨拶

公益社団法人群馬県畜産協会 会長 唐澤 透

新年明けましておめでとうございます。年頭に当り、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、平素より本会の事業に対しまして、ご支援、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻が、世界経済と世界秩序を大きく揺るがした年でありました。畜産におきましては、こうした世界情勢

や円安、国際的な穀物需要の高まりなどの影響で、飼料価格はかつてない高騰が続き、経営はより一層厳しさが増えています。また、家畜衛生については、県内4農場での豚熱発生や高病原性鳥インフルエンザが過去最多のペースで全国各地の養鶏場等で発生し、本県では、11月18日付けで家畜伝染病予防法に基づく消毒命令が養鶏場に発出されるなど、最大限の防疫対策が求められる年でありました。

こうした中、新年を迎え、本県では初めて高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が養鶏場で確認されましたが、この難局を乗り越えるため、本会としても行政並びに生産者団体等と連携し、再発防止に全力を挙げているところです。

さて、畜産業は、配合飼料や粗飼料価格の高騰により、今後の経営が見通せない状況に置かれています。国では配合飼料価格安定制度に加え、飼料高騰に対する緊急対策を継続実施しているところですが、今回の飼料高騰は、中国の輸入穀物の需要拡大が一つの要因であるとされ、一時的な価格上昇で終わらない可能性も指摘されています。このことを鑑みると、今まさに喫緊の課題である、輸入飼料の過度な依存を見直す時がきており、自給飼料増産に向け、構畜連携などへの取り組みを、力強く後押し、食料安全保障を強化する必要があると感じています。

こうした状況を踏まえて、本会としては、飼料対策では、トウモロコシや牧草、稲WC Sなどの自給飼料生産に必要な、収穫・調整作業機械の導入支援により、飼料生産基盤の強化を図って参ります。経営対策では、家畜・畜産物の価格安定対策をはじめ、畜産経営指導や畜産特別資金による経営支援を行うと共に、和牛の増頭対策、酪農ヘルパー対策、省力化・生産性向上に資する機械・装置の導入支援を実施いたします。また、衛生対策では、地域の自衛防疫団体を通じた各種ワクチン注射をはじめ、伝染性疾病清浄化のための抗体検査等の支援のほか、豚熱や高病原性鳥インフルエンザに関する情報提供など、協会としての役割を十分に発揮できるよう、職員一丸となり全力で業務に取り組み、本県畜産業の発展に寄与して参る所存であります。

結びに、令和5年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、本会に対するご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

目次

年頭のご挨拶	1	蜂蜜品質向上共励会の開催	8
群馬県畜産協会 第50回理事会の開催	2	令和4年度ジャジングスクールの開催	8
第12回全国和牛能力共進会成績報告会の開催	4	農場 HACCP 講習会の開催	9
山本知事へ全国和牛能力共進会の成績を報告	4	受託団体のご紹介	9
第12回全国和牛能力共進会群馬県出品候補牛枝肉共進会の開催	5	群馬県畜産技術連盟主催 畜産技術情報研修会の開催	10
公共牧場活性化研修の開催	5	肉用牛経営安定対策補完事業「強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業」	10
群馬県畜産共進会の開催	6	価格安定事業発動状況	11
(株)川田牧場 牧場体験交流会の開催	7	市況	11
浦和競馬場畜産フェアの実施	7	みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程	12

群馬県畜産協会 第50回理事会の開催

去る、令和4年11月14日に群馬県JAビルにおきまして、第51回の理事会が開催されました。

主な議案は、「令和4年度変更事業計画及び収支補正予算の承認について」です。令和4年3月10日に第47回理事会で決議されました「令和4年度事業計画及び収支予算案」を、今年度の執行見込みにあわせ事業計画の変更、及び収支予算の補正を行いました。

今回の事業計画の変更、収支予算の補正に伴い、公益目的事業は、当初の76事業から78事業に増加し、収益等事業を合わせ、90事業から2事業廃止、4事業が新規事業として増加し、合計92事業の実施する計画となりました。

1 変更事業計画の概要

(1) 公益目的事業

公益目的事業は、事業内容等から、畜産経営の安定を支援する事業、畜産経営の向上を支援する事業、家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業、家畜の能力向上を促進する事業の4種類に区分されます。当初事業計画の作成後に新たに実施が決定された事業、事業内容の変更、事業量等の変更が見込まれる事業、廃止となった事業を中心に事業計画の変更を行います。

(ア) 畜産経営の安定を支援する事業

肉用子牛生産者補給金制度では、乳雄子牛の価格の下落に伴い、乳用種は第2四半期において補給金が交付、また、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）では、8月期において、乳用種、交雑種に加えて肉専用種についても交付金が交付されていますので、それらを見込んで事業量の変更を行い、畜産経営のセーフティネットである価格安定事業の安定的な実施を図ります。また、新たに、経営改善に取り組む肉用子牛生産者を緊急に支援する「優良肉用子牛生産推進緊急対策事業」を実施します。

(イ) 畜産経営の向上を支援する事業

新たに、中央畜産会が実施する生産技術指導の情報提供を行う「生産技術情報収集事業」、畜産関係機関との連携強化等を図る「地域畜産支援指導等体制強化事業に係る委託事業」を実施します。

(ウ) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業

家畜保健衛生所や民間獣医師と連携し、令和3年度まで実施された「地域豚疾病低減対策強化事業」の組替で実施される、自衛防組織等による豚疾病の発生低減、清浄化を図る取組みに対し支援する「地域養豚生産衛生向上対策支援事業」を実施します。

(エ) 家畜の能力向上を促進する事業

和牛の中核的担い手の優良繁殖雌牛の増頭奨励、全国肉用牛振興基金協会が実施する畜産クラスター計画に基づく繁殖雌牛の増頭を加速化する事業については、昨今の畜産経営の環境悪化に伴い、事業参加頭数の減少を見込んでいます。

一方、ゲノムを活用した家畜の能力評価を支援する事業、また、改良の成果を競う共進会の開催、優良形質を持つ繁殖牛の県内保留を促進する事業、「第12回全国和牛能力共進会」に向けた出品対策関連事業は、概ね計画どおりの実施を見込んでいます

(2) 収益事業等

家畜登録事業において、和牛の登録、遺伝子型検査頭数は増加を見込んでいます。その他の事業は、概ね計画どおりの実施を予定しています。

会計区分		補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
公益目的事業	公1(1)経営安定支援	2 (1)			1 (1)		1 (1)	1 (1)	5 (4)
	公1(2)経営向上支援	8 (8)		1 (1)	8 (8)			10 (10)	27 (27)
	公1(3)安全・理解	5 (5)	6 (5)		4 (4)			9 (9)	24 (23)
	公1(4)能力向上	7 (7)		7 (7)	2 (2)			6 (6)	22 (22)
	小計	22 (21)	6 (5)	8 (8)	15 (15)		1 (1)	26 (26)	78 (76)
収益等事業	収1(1)家畜登録					6 (6)			6 (6)
	他1(1)団体事務受託						8 (8)		8 (8)
	小計					6 (6)	8 (8)		14 (14)
合計		22 (21)	6 (5)	8 (8)	15 (15)	6 (6)	9 (9)	26 (26)	92 (90)

※（ ）は当初予算時の事業数

2 新規事業

- (1) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業
公益目的事業（公1（1）経営安定支援） 補助事業（農畜産業振興機構）
※令和4年6月から12月までの臨時・緊急の措置
- (2) 生産技術情報提供事業
公益目的事業（公1（2）経営向上支援） 受託事業（中央畜産会）
- (3) 地域畜産支援指導等体制強化事業に係る委託事業
公益目的事業（公1（2）経営向上支援） 受託事業（中央畜産会）
- (4) 地域養豚生産衛生向上対策支援事業
公益目的事業（公1（3）安全・理解醸成） 助成事業（中央畜産会）

3 収支補正予算の概要

今年度の収支補正予算は、令和4年3月時点の事業計画に基づく収支予算と大きな差異はありませんが、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）等の発動、新規事業の肉用子牛に係る緊急対策事業、養豚の疾病対策等に起因するものが補正の中心となります。

(1) 経常収益

収支補正予算に係る経常収益は5億5,655万円であり、3,411万円増加する見込みです。

主な要因は、「地域養豚生産衛生向上対策支援事業」「生産技術情報提供事業」「地域畜産支援指導等体制強化事業に係る委託事業」等の新規事業の実施に伴う助成金及び受託金の増加によるものです。

全体としては、事業量の増減はありますが、概ね当初予算どおり推移する見込みです。

(2) 経常費用

収支補正予算に係る経常費用は5億5,720万円であり、3,316万円増加する見込みです。

主な要因は、職員1名の退職による人件費の減少はありますが、新規事業の実施に伴う費用の増加、減価償却を終えた会有車及びPCの入替に伴う減価償却費の増加、法令上の保管を義務付けられている書類の保管場所の集約に伴う書庫整備費用の発生によるものです。

全体としては、事業量の増減はありますが、概ね当初予算どおりに推移する見込みです。

(3) 総括

このことから、経常収益計は当初予算の5億2,243万円から5億5,655万円に、経常費用計は当初予算の5億2,403万円から5億5,720万円に予算を増額補正します。

経常外収益では、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の生産者負担金単価の増額、会有車の売却による車両運搬具の売却益の発生と、令和元年度に実施したアフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業の補助金返還額の発生に伴い、当初予算額3億3,325万円から3億6,617万円に増額補正します。

経常外費用では、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の無事戻しに伴う生産者負担金の返還額の増加、及び令和元年度に実施したアフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業の補助金返還額の発生に伴い、当初予算3億3,325万円を3億6,377万円に増額補正します。

これらから法人税、住民税及び事業税を差引き、当期一般正味財産増減額は、当初予算のマイナス459万円から335万円増加してマイナス124万円となり、マイナスの圧縮を見込みます。

ご承認いただきました変更事業計画及び収支予算をもとに、令和4年度の事業の実施について、適正執行に努めて参りたいと思います。

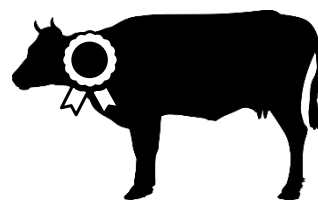
第12回全国和牛能力共進会成績報告会の開催

令和4年11月16日（水）にホテルラシーネ新前橋において、第12回全国和牛能力共進会成績報告会を開催しました。

報告会は全農群馬県本部、全共出品者、本会が主催し、群馬県食肉卸売市場及び群馬県食肉品質向上対策協議会に協賛していただきました。

唐澤会長をはじめ、県議会、行政、和牛関係者103名に出席をいただき、過去最高の成績を収めた和牛全共鹿児島大会の成果を報告しました。

また、肉牛の部で優等賞を受賞されました、(株)加藤牧場と(株)六本木牧場の上州和牛が振る舞われました。



唐澤会長と全共出品者



サイコロステーキ(加藤牧場)とローストビーフ(六本木牧場)

山本知事へ全国和牛能力共進会の成績を報告しました

令和4年12月27日（火）に群馬県庁において、山本知事に第12回全国和牛能力共進会の成績を報告しました。全共で上位入賞した事により上州和牛の美味しさ、群馬の繁殖雌牛の素晴らしさを全国へPRでき、山本知事も出品者をねぎらい、次回大会ではさらなる上位入賞を目指して欲しいと激励の言葉をいただきました。

また、群馬県産食肉の県民への消費拡大について要請をしてまいりました。



左から、山田弘之団長、大塚隆夫 JA 前橋組合長、唐澤透会長、山本一太知事、中沢丈一県議

第12回全国和牛能力共進会群馬県出品候補牛枝肉共進会の開催

令和4年12月2日（金）に群馬県食肉卸売市場において、第12回全国和牛能力共進会群馬県出品候補牛枝肉共進会が開催されました。（主催：第12回全国和牛能力共進会群馬県出品対策協議会）

出品された和牛22頭のうち21頭が5等級と肉質良好な枝肉が多数出品されました。

最優秀賞は（有）今井牧場の「庄東826」で、生産者は渋川市の南雄司さん、全共最終予選会で補欠に選ばれた牛でした。枝肉重量542kg、BMS12と重量及び肉質とも素早らしい枝肉でした。今回の結果を生かし、次回の第13回全国和牛能力共進会の肉牛の部ではさらなる高みを勝ち取りたいと思います。

第12回全国和牛能力共進会群馬県出品候補牛枝肉共進会

場所：群馬県食肉卸売市場

No.	J A 名	出品者名	父	母の父	母の祖父	繁殖者氏名	生年月日	性別	枝肉重量	格付	BMS	BMS	等級	個体識別No.
1	前橋市	㈱六本木牧場	福之姫	百合茂	安平	黒岩 敏茂	02/10/15	去	550	A4	6	3		1599362401
2	前橋市	㈱六本木牧場	愛之国	美津照重	忠富士	堀込 進	02/10/09	去	436	A5	11	3		1587575271
3	前橋市	㈱六本木牧場	福之姫	百合白清2	安福久	町田 忠	02/10/23	去	524	A5	9	3		1599369028
4	前橋市	㈱六本木牧場	福之姫	安福久	勝忠平	桜井 三郎	02/11/07	去	565	A5	12	3	優等賞	1605435938
5	前橋市	㈱六本木牧場	福之姫	百合茂	安茂勝	南 雄司	02/10/14	去	516	A5	8	4		1609510921
6	前橋市	㈱六本木牧場	福之姫	美津照重	忠富士	吉野 利保	02/10/30	去	601	A5	11	3		1628365199
7	前橋市	㈱六本木牧場	福之姫	幸紀雄	安福久	原澤 幹夫	02/10/22	去	517	A5	12	3		1619974140
8	前橋市	㈱六本木牧場	福之姫	金太郎3	安福久	原澤 幹夫	02/10/29	去	609	A5	11	3		1619974171
9	前橋市	㈱六本木牧場	福之姫	幸紀雄	安福久	原澤 幹夫	02/10/30	去	482	A5	12	4		1619974195
10	前橋市	㈱六本木牧場	福之姫	安福久	勝忠平	本多 道長	02/10/07	去	593	A5	8	4		1529704639
11	前橋市	㈱宮城高橋ファーム	福之姫	平茂晴	平茂勝	星野 勝将	02/10/08	去	574	B5	8	4		1624830264
12	前橋市	鈴木 明巳	福之姫	安福久	勝忠平	岡田 成夫	02/10/09	去	556	A5	9	4		1590993772
13	前橋市	西野 一郎	福之姫	美津照重	安茂勝	原田 芳朗	02/10/09	去	467	A5	10	3		1630461506
14	前橋市	岡本 恵美	福之姫	金太郎3	安福久	原澤 幹夫	02/10/23	去	526	A5	9	3		1619974157
15	北群渋川	㈱今井牧場	福之姫	美津照重	百合茂	南 雄司	02/10/13	去	542	A5	12	3	最優秀賞	1608810916
16	北群渋川	㈱今井牧場	福之姫	安福久	勝忠平	(株)小川ファーム	02/10/16	去	521	A5	10	3		1605286165
17	にったみどり	㈱加藤牧場	愛之国	美津照重	忠富士	加藤 弘幸	02/10/08	去	470	A5	10	3		1499114476
18	にったみどり	㈱加藤牧場	福之姫	白鵬85の3	幸紀雄	須貝 美穂	02/10/07	去	466	A5	11	3		1602446524
19	にったみどり	㈱加藤牧場	愛之国	美津照重	忠富士	石田 祐一	02/10/13	去	520	A5	12	3		1606238521
20	にったみどり	㈱加藤牧場	愛之国	安福久	勝忠平	金沢 勝美	02/10/07	去	584	A5	12	3	優秀賞	1620626526
21	にったみどり	㈱加藤牧場	愛之国	百合茂	安福久	山田 弘之	02/10/21	去	412	A5	11	3		1366043502
22	にったみどり	㈱加藤牧場	福之姫	美津照重	忠富士	石原 玄明	02/10/10	去	548	A5	11	3		1626544695

公共牧場活性化研修の開催

公共牧場の機能強化や管理の改善等を図ることを目的として、令和4年11月29日（火）に群馬県浅間家畜育成牧場にて公共牧場活性化研修会を開催しました。

座学研修会では、農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域 省力肉牛生産グループ 上級研究員の北川美弥氏より、草地更新の必要性と具体的な更新方法について講演していただきました。

事業紹介では、浅間家畜育成牧場における基盤整備事業について群馬県農政畜産課飼料牧野係より説明していただき、実際に草地整備現場、牛舎建築現場の見学を行いました。



座学研修の様子



草地整備現場の見学



牛舎建築現場の見学

群馬県畜産共進会の開催

○繁殖和牛の部

令和4年11月2日（水）に群馬県畜産試験場（前橋市富士見町）において、第26回群馬県畜産共進会・繁殖和牛の部が開催されました。
出品された計46頭4組（実頭数54頭）について、体型や品位・資質等に関する（公社）全国和牛登録協会の審査標準に基づき、審査が行われました。

和牛の部 優等1席一覧

	出品牛名号	出品者	備考
1部（未經産）	あいり	平井 言治	
2部（未經産）	りり	近藤 拓馬	
3部（未經産）	たけい3の4	武井 賢一	名誉賞
4部（経産）	ばんだい50	原澤 幹夫	
5部（経産）	ももこ2	片野 嘉平	
6部（繁殖雌牛群）	みなかみ364	原澤 幹夫	
	ばんだい5	〃	
	みなかみ46	〃	
7部（高等登録群）	しらね07548	高島牧場	
	しらね07132		



名誉賞 武井 賢一 3部（未經産）たけい3の4
※未經産の名誉賞受賞は初

○乳牛の部

令和4年11月4日（金）、群馬県畜産試験場にて、第26回群馬県畜産共進会・乳牛の部が開催されました。未經産22頭、経産20頭が出品され、体型や乳用強健性、乳房等について（一社）日本ホルスタイン登録協会の審査標準に基づき、審査が行われました。

乳牛の部 優等賞一覧

	名 号	出 品 者	備 考
未 経 産	第1部 アガチューブライト S ロンソニレット RED	県立吾妻中央高等学校	
	第1部 アガチューレヴェル	県立吾妻中央高等学校	
	第2部 ジヤグロプリッジ チーマンサラ	齊藤 将聡	
	第2部 ブルーエンゼルハンフォード ジョジョ	(有)萩原牧場	
	第3部 アガチューブライト S デイルメーカーミクリ	県立吾妻中央高等学校	
	第4部 ジヤグロプリッジ セカンドアマンサラ	齊藤 将聡	
	第5部 リスペクトライズ ハンコック	三輪 圭吾	名誉賞
経 産	第6部 KCF テイトリブルティードベント	(有)KC牧場	
	第6部 アガチューレシャイン	県立吾妻中央高等学校	
	第6部 デュアルパーノースターハーバー	(株)川田牧場	
	第7部 ゴールドリンクPRフレアバンクロール	(株)センユウファーム	
	第8部 フロンティアドアミージュリア	石原 玄明	
	第8部 ブルーエンゼルブースターミツシーミステイカル	(有)萩原牧場	
	第9部 ブルーエンゼルダイヤモンドバックウイット	(有)KC牧場	名誉賞
	第10部 ファインデールテイトリブルティードアマンET	(有)KC牧場	名誉賞
	第11部 ラブリーファームクインジスゴールドウインユニクス	(株)長坂牧場	



名誉賞（農林水産大臣賞）出品者：(有)KC牧場
9部ブルーエンゼルダイヤモンドバックウイット



名誉賞 出品者：三輪 圭吾
5部リスペクトライズ ハンコック



名誉賞 出品者：(有)KC牧場
10部ファインデール テイトリブルティードアマン

(株)川田牧場 牧場体験交流会を開催しました

牧場での様々な体験を通して、畜産物の生産現場や畜産の役割についての理解を深めることを目的として、一般消費者の親子を対象に、令和4年10月29日（土）に利根郡川場村の(株)川田牧場にて日帰りコースの牧場体験交流会を開催しました。

(株)川田牧場では、経営者である川田忠さんに牛舎内を案内していただき、施設の見学や搾乳体験、牛とのふれあいを楽しみました。また、体験後にはJA 利根沼田で販売されている牛乳の試飲や、(株)川田牧場で生産された牛乳を使ったジェラートの試食を行いました。

牧場体験を通して、消費者の畜産への理解を深めるとともに、畜産業を職業として選択するきっかけづくりとして、今後も牧場体験交流会を開催していきたいと考えています。

■川田牧場（日帰りコース）

開催日：令和4年10月29日（土）

参加者：4組（大人7名、子供5名）

体験内容：牛舎の見学、搾乳体験、
牛とのふれあい、
牛乳・ジェラートの試食



浦和競馬場畜産フェアの実施について

令和4年11月21日～25日の5日間にわたり、埼玉県、栃木県、長野県、本県の4県の協賛で浦和競馬場にて畜産フェアを実施しました。例年は、来場者に対して東毛酪農のチーズ無償配布及び普及啓発資料の配布を実施していますが、昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止とし、浦和競馬場HP上において専用サイト開設および当選者に対し、群馬・栃木・埼玉・長野、各県の畜産物の発送を行いました。期間中の応募者総数は55315名となり、当選者数は205名となりました。

また、開催期間中において、本県畜産関係団体主催の冠レースを4競走（畜産協会長賞、上州和牛賞、高崎ハム賞、東毛酪農63℃賞）実施し、優勝馬の馬主や騎手への副賞授与を行いました。

本イベントへの参加により、地方競馬および畜産振興に資することを目的とし、県産畜産物への感心をより一層高めるため、今後も取り組んでまいります。

本県畜産関係団体主催の冠レース 勝ち馬一覧

	馬番	馬名	騎手	調教師
【第5レース】高崎ハム賞	6	レッドコーラル	左海 誠二	小久保 智
【第7レース】東毛酪農63℃賞	1	トモノエリザベス	町田 直希	酒井 一則
【第8レース】上州和牛賞特別	2	ミステリーオン	見越 彬央	小久保 智
【第11レース】群馬県畜産協会長賞特別	3	ニシノブライアント	西村 栄喜	渋谷 信博



群馬県畜産協会長賞特別パドックの様子



群馬県畜産協会長賞特別 電光掲示板



ゴール前のニシノブライアント

第26回 群馬県養蜂協会 蜂蜜品質向上共励会の開催

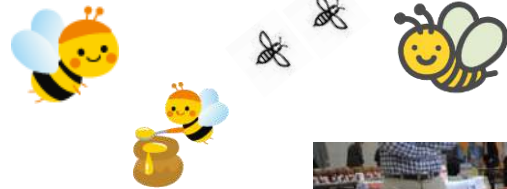
群馬県養蜂協会は、県産はちみつの品質、生産技術向上と消費者への理解醸成などを目的に、令和4年10月14日（金）に群馬県庁県民ホールにおいて令和4年度の蜂蜜品質向上共励会を開催しました。

出品は会員である県内10支部より80点（うちアカシア29点、百花51点）が出品され、審査方法は出品者名を秘匿とし審査員が糖度と色沢、風味などにより評価し、県知事賞各1点、県畜産協会会長賞各1点、（一社）日本養蜂協会会長賞各1点、県養蜂協会会長賞各5点を選出しました。

また、審査終了後はちみつ即売会を開催したところ、多くの方々に並んでいただき大盛況となりました。

最優秀賞（群馬県知事賞）

部門	市町村名	出品者
アカシアの部	渋川市	福島 紀男
百花の部	藤岡市	田中 明夫(田中養蜂場)

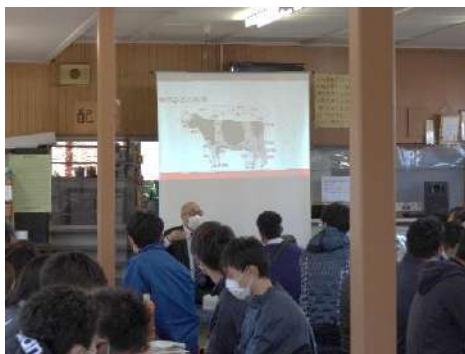


令和4年度ジャジング・スクールの開催

酪農家の「牛を見る目」を養成し、酪農経営の健全な発展と次代を担う後継者の育成を目的として、令和4年11月11日（金）・12日（土）に前橋家畜市場にてジャジング・スクールが開催されました。（主催：全国ホルスタイン改良協議会、共催：群馬県乳牛改良協会）

供試牛は県内の酪農家のご協力により出品され、研修には全国各地の酪農関係者125名が参加しました。

ジャッシング研修では、「乳牛のジャッジ」についての講義のほか、一般クラスとジャッジマン候補・認定ジャッジマンクラスに分かれて研修が行われました。



講義の様子



序列付けの様子



講師による説明



農場 HACCP 講習会の開催

農場 HACCP の普及推進を図るため、令和4年11月30日に農場HACCP講習会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮して、JAビルとオンラインでのハイブリッド開催したところ、関係各所や生産者から多くの参加がありました。

HACCPとは、食品の安全を確保するための衛生管理手法のことで、原材料の入荷から製造・出荷までの各工程において、病原微生物による汚染や異物の混入等、人の健康を害する危害要因を予測、分析し、重大な危害の発生につながるポイントを継続的に監視、モニタリングすることにより、問題のある製品の出荷を未然に防ぐという、食品の安全を確保するための仕組みです。このHACCPの考え方を農場での生産工程にあてはめ、農場段階で危害要因をコントロールし、畜産農場における衛生管理の向上を図り、畜産物の安全性を確保するのが農場 HACCP です。農場HACCP認証農場になるには、農場HACCP認証基準を満たしているか審査を受けます。農場HACCP認証農場数は、令和4年10月26日現在で全国454農場、群馬県では21農場となっています。

今回の講習会では、農場HACCP主任審査員として数多くの農場審査を行い、県内の農場 HACCP 構築指導にも携わっている栗原アニマルヘルスの栗原信明氏より、農場HACCPの概要と審査、構築支援を通じての課題と対応について、また、高校として全国初の農場HACCP認証農場となった群馬県立勢多農林高等学校の農場長である石井樹一郎氏より、農場HACCP認証の取組について講演していただきました。

農場HACCPの取り組みは、飼養衛生管理の向上において、有効な手段となっています。本会では、農場 HACCP 認証取得を支援していますので、農場 HACCP に取り組みたいという農場は、お問い合わせください。引き続き構築指導や講習会の開催により、農場HACCPの支援、推進を実施していきます。



栗原信明 氏



石井樹一郎 氏

受託団体のご紹介

群馬県畜産技術連盟

群馬県畜産技術連盟は、畜産技術者などの畜産関係者の相互の連絡を図り、ぐんまの畜産の振興に寄与することを目的に平成2年10月に設立され、今年で33年を迎える団体です。これまで群馬県畜産課が事務局を担当していましたが、平成29年度に本会へ事務局が移管されました。

会長は富田孝（群馬県畜産協会）、副会長は小茂田匡央（群馬県牛乳販売農業協同組合連合会）が務めます。現在の会員数は64名であり、①畜産技術の向上並びに普及に関すること ②畜産及び畜産技術に関する調査・研究に関すること ③畜産技術者の相互連絡、福祉の向上に関すること ④その他連盟の目的を達成するために必要な事業を実施しています。

年間の主な事業計画は、通常総会、役員会、監査会の開催のほか、会員などを対象とした畜産技術情報研修会の開催や、機関紙「畜産技術」誌の会員送付、畜産技術協会への協力などがあります。

ここ数年の課題としては、定年等を迎えた畜産技術者の退会が進み、会員数の減少が続いている一方、新規加入者がいないため、会の運営を図るための財政面が厳しくなっているところです。「畜産情報」誌は、畜産技術者が執筆する身近な情報が掲載されています。年間4,000円でその畜産情報がお手元に届きます。

ご興味のある方はぜひご加入をご検討ください。



群馬県畜産技術連盟主催 畜産技術情報研修会の開催

去る、令和4年10月24日（月）15時から、群馬県JAビルにおいて、「群馬県畜産技術情報研修会」が開催されました。

畜産業は、戦後のたんばく質不足を補う形で、国民に良質な動物性たんばく質を提供することが目的でしたが、時代とともに、食品も多様化し、健康志向の中でその役割は変化しています。

SDGsを「持続可能な開発目標」と概念的に理解はしているものの、カーボンニュートラルの提唱を受け、畜産が及ぼす環境への影響について、日本においても目が向けられる時代がやってくるのが考えられます。近年では、消費者の食の多様化に伴い、植物性たんばく質を用いた動物性たんばく質の代替品も誕生しています。

畜産業は今後、消費者に必要とされる産業として、その期待に応えることが、持続可能な畜産業への発展につながるのではないかと考え、畜産のSDGsを考える第一歩として今回の研修会を開催しました。

研修会テーマは、ぐんまの畜産 SDGsへの第一歩 パート1 「動物性たんばく質と持続可能な社会の実現」～持続可能な食料生産の地球環境への影響とアメリカ西海岸からみる市場の変化～と題しまして、オフィスわん 代表 小川 孔輔 氏からご講演を頂戴しました。

会員や畜産関係者20名ほどが参加し、今後、日本が進むであろう動物性たんばく質の在り方とその消費動向など、大変有意義な研修となりました。

**肉用牛経営安定対策補完事業「強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業」**

肥育牛の出荷時期の早期化に有効な強化哺乳技術（特定の栄養規格を満たす代用乳を用いて効果的に哺育する技術）を活用した子牛生産の取組を支援するため、都道府県等を区域として事業を実施します。

1. 事業の内容**（1）早期出荷支援対策**

地域における肉用子牛の発育の向上及び早期出荷を図るために、強化哺乳技術の活用等の取組を実施した肉用子牛生産者に対して、家畜市場への子牛の出荷頭数に応じた奨励金（6,000円以内/頭）の交付を都道府県等を区域として、自ら実施するとともに、生産者集団等に対し、同奨励金を交付する取組への支援を実施する。

2. 実施期間：

令和4年度（R4年10月1日～）から令和5年度まで

【事業の要件】

ア 交付対象者（次の要件をいずれも満たす者であること）

- ①肉用子牛生産安定等特別措置法（昭和63年法律第98号）第6条第1項に規定する生産者補給金交付契約を同項の指定を受けた都道府県肉用子牛価格安定基金協会との間で締結している者であること。
- ②飼料メーカーが保証する栄養成分の含有率が、粗タンパク質は26%以上、粗脂肪は18%以下である代用乳について、対象牛1頭当たり45キログラム相当分を事業実施期間内（令和4年度については、令和4年10月1日から令和5年3月31日までとする。）に購入したことを証明する書類（電磁的記録を含む。）を保管し、その写しを提出できる者であること。

イ 奨励金交付対象牛（次の要件をいずれも満たす肉用子牛であること）

- ①黒毛和種であること。
- ②事業実施期間内（令和4年度については、令和4年10月1日から令和5年3月31日までとする。）に家畜市場に出荷された牛であること。
- ③日齢が、去勢牛 182～270日、雌牛 182～280日の間に家畜市場に出荷された牛であること。
- ④家畜市場への出荷時点において、日増体量（出荷時体重÷出荷時日齢）が、去勢牛 1.08キログラム/日、雌牛 0.97キログラム/日以上のものであること。

価格安定事業発動状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況（令和4年1月～12月）

区分				平均売買価格(円)					交付単価(円)			
業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用
7	4	1～3	第4四半期	730,200	589,500	311,800	231,200	324,400	0	0	8,200	0
		4～6	第1四半期	668,500	553,100	-	210,000	293,300	0	0	-	0
		7～9	第2四半期	605,400	536,800	-	149,500	275,400	0	0	-	14,500
		10～12	第3四半期	614,000	534,100	-	127,400	301,400	0	0	-	36,600
		計			※他肉（その他肉専用種）はR2年度より算定期間が1年（4月～3月）となりました。							

■肉用牛肥育経営安定交付金制度【牛マルキン】 交付金交付状況（令和4年10月期）

期間	品種区分	納付区分	支払い区分	交付対象		交付金の額		交付金として 支払う額（3/4）	設立金から 払われる額（1/4）	交付日
				人数 （人）	頭数 （頭）	（円） （4/4）				
10月期	肉用種	通常	概算払		876	38,127,963		28,595,938	9,532,025	概算払日 令和4年 12月26日
		猶予			0	0		0	0	
		計		76	876	38,127,963		28,595,938	9,532,025	
	交雑種	通常	概算払		1105	4,937,875		3,703,379	1,234,496	
		猶予			0	0		0	0	
		計		81	1105	4,937,875		3,703,379	1,234,496	
	乳用種	通常	概算払		15	555,945		416,957	138,988	
		猶予			0	0		0	0	
		計		5	15	555,945		416,957	138,988	
	小計	通常	概算払		1996	43,621,783		32,716,274	10,905,509	
		猶予			0	0		0	0	
		計		162	1996	43,621,783		32,716,274	10,905,509	

■肉用豚経営安定交付金制度【豚マルキン】（令和4年4月～12月）

算出期間	令和4年4月から12月まで
肉豚1頭当たりの標準的販売価格	42,138 円/頭
肉豚1頭当たりの標準的生産費	39,711 円/頭
肉豚1頭当たりの交付金単価	—

市況

■和牛子牛市場成績【JA 全農ぐんま渋川家畜市場】（令和5年1月）

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
1	雌	127	825,000	261,800	556,998	298	294	1,865
	雄	-	-	-	-	-	-	-
	去勢	155	974,600	327,800	745,870	328	289	2,273
	合計	282	974,600	261,800	660,811	314	291	2,099

■乳用牛市場成績（令和4年11月）

開催月	畜種区分	授精区分	腹子品種	頭数（頭）	平均体重(kg)	平均価格(円)
11	未経産			36	333	162,556
	初妊	AI	ホルス	13	535	330,308
			交雑種	47	605	384,234
		ET	和牛	30	564	596,400
		IVF	IVF	3	630	428,333
	経産			71	626	253,873
		AI	ホルス	7	651	199,000
			交雑種	46	644	289,696
		IVF	IVF	7	661	331,000
		合計			260	575

■前橋家畜市場取引結果【群馬県家畜商商業協同組合】（令和4年12月）

品種	区分	性別	売買頭数	最高値(円)	最低値(円)	平均(円)	平均体重(kg)
和牛	子牛	メス	185	602,800	50,600	353,790	148
		オス	286	892,100	86,900	516,608	164
	スモール	メス					
		オス					
交雑種	子牛	メス	40	379,500	220	161,101	172
		オス	28	342,100	550	130,173	118
	スモール	メス	592	331,100	550	95,094	85
		オス	688	290,400	660	140,719	92
乳牛	子牛	メス	12	64,900	11,220	37,327	99
		オス	2	20,900	13,200	17,050	102
	スモール	メス	18	58,300	770	22,226	63
		オス	271	67,100	110	24,424	74



みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください

◆BAOO高崎

群馬県高崎市岩押町 12-16
お問合せ：027-322-5192



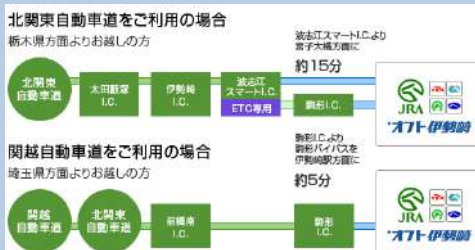
ロイヤル席
個別モニター付き特別
観覧席で快適な一日を
お過ごしいただけます

◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド4階
お問合せ：0270-23-0535



平日、大井、川崎、
船橋、浦和の馬券が
購入できます



【開催日程】

🌙 ナイター 🌅 薄暮開催

2023年 2月																											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
川崎 Jpn I	川崎	川崎			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			浦和	浦和	浦和	浦和	浦和			大井	大井	大井	大井	大井			川崎	川崎

2023年 3月																														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
川崎	川崎	川崎			大井	大井	大井	大井	大井			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			浦和	浦和	浦和	浦和	浦和			大井	大井	大井	大井	大井
Jpn II								S III						Jpn II	S II															

2023年 4月																													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		川崎	川崎	川崎	川崎	川崎			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			大井	大井	大井	大井	大井			浦和	浦和	浦和	浦和	浦和		

編集後記

明けましておめでとうございます。令和5年ですね。ニュースで新型コロナの話題が増え、業務へ影響しだしたのが、ちょうど3年前となるのでしょうか。私事では、1歳だった娘が年少組になり、昨年生まれた弟もあつという間にもうすぐ1歳です。・・・時間が経つって早いですね（笑）

その3年を振り返ると、最初のうちは実態のわからない病気を怖がることしかできませんでしたが、2年目には、WEB会議やハイブリッド式を取り入れ、3年目になると、現地で農家や消費者と一緒に仕事をする形で各種イベントの開催が復活できています。本会で言えば今号掲載の県共進会や牧場体験、和牛全共への出品等です。WEB会議の利点もありますが、やはり人と繋がる仕事の暖かさは大事だなととても感じました。

今後も柔軟な対応を心がけて、本会の役割を全うできるように頑張りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

<中村>